

# 幼児教育センターだより 6号



## 幼児教育推進連絡協議会 専門部会



### <幼児教育施設訪問等研修部会> 7月25日開催

- アドバイザーや推進リーダーが建学の精神や保育文化の違いを理解して訪問することが大切である。
- 訪問研修を受けた感想や体験談を発信するとよい。
- 推進リーダー自身が訪問研修を受け、受ける側の体験をすることが大切である。

### <幼児教育推進リーダー活用部会> 8月24日開催

- リーダーが訪問研修で多様な保育を見て学んだことを、自園や地域に広げていけるとよい。
- 理念とスキルの両面を磨いていく必要がある。
- 小学校教員に幼児教育を理解してもらえよう、解説役になることができる。



### <幼児教育・小学校教育接続部会> 8月22日開催

- コロナ禍でも、ICTを活用し、子供同士の交流活動を工夫して行うことができる。
- 合同研修会開催時の幼小の日程調整の難しさがある。
- 交流活動やスタート・カリキュラムの作成の参考になる資料が必要である。

いただいたご意見を今後の幼児教育センターの取組に生かしていきます。



## モデル校区の合同研修会

夏休みに、今年度の幼児教育・小学校教育接続推進事業のモデル校区では、合同研修会が行われました。その合同研修会の様子を紹介します。

### A校区

- <内容>・新夕幼児教育スーパーバイザーの講演  
・幼小の情報交換 等

小学校教員が「登園後、子供たちはどのような動きをしているのですか」という質問を投げかけ、保育士が答える場面がありました。保育士の関わり方を知って小学校教員が「子供たちの考えや思いを大事にしていけばよいと思った」と明るい顔で話す姿が見られました。



「子供の主体性を大事に」

### B校区

- <内容>・富山短期大学の石動瑞代教授の講演  
「幼児教育の基本 等」  
・動画の視聴を通しての小学校教員と  
保育教諭がペアになっての話し合い  
「円滑な幼小接続を目指す中で大切にしたいこと」

小学校教員から「今までは、子供が失敗しないよう声をかけていたが、声をかけずに見守ることの大切さが分かった」という感想が聞かれました。



「幼児教育は環境を通して行う教育」

### C校区

- <内容>・新夕幼児教育スーパーバイザーの講演と演習  
・情報交換 等

小学校教員と保育者が混合グループに分かれ、講演の感想を伝え合ったり、互いに関する質疑応答や情報交換をしたりしました。活発な話し合いが行われました。



「子供を見守ることが大切」



## 幼稚園教育課程研究協議会



期 日：8月25日（木）

参加者：オンライン133名

- 内 容：①教育事務所指導主事からの伝達講習  
 ②滑川市早月加積こども園の発表、協議、指導助言  
 ③富山市大久保幼稚園の発表、協議、指導助言



ブレイクアウトルームでの協議では、発表について参考になったことや自園、所で取り組んでいることなどを活発に話し合う様子が見られました。

### <アンケートより>

- 子供の育ちを小学校教員と共有していくことで、切れ目のない援助や言葉がけを行うことができ、子供にとっても安心して過ごせる環境をつくってあげられるのではないかと思います。
- 保護者と学びや育ちを共有するために10の姿を用いて具体的に知らせる手立て、おたよりに保護者のコメント欄をつくるという方法がとても参考になりました。



## 安心子育てリーフレット 「きときと1年生」作成・配布



新1年生（年長児）の保護者向けに、安心子育てリーフレット「きときと1年生」を作成し、9月1日に各園、所等に配布しました。

本リーフレットは、小学校入学前の保護者の不安を取り除き、安心して入学していただくためのものです。

園、所におかれましては、懇談会や保育参観の機会を利用して配布していただき、家庭との連携を深めるなど、ぜひご活用ください。

